



WEB掲載項目について

本冊子では、できる限り重要性の高い報告に絞り、読みやすいレポートを目指しています。そのため、本冊子に掲載できなかった取り組みや詳細データはWEBでご紹介しています。

<http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/2012/>

積水ハウスグループについて

■ グループの概要

■ 積水ハウスの住まいづくり

■ トップコミットメント

■ 企業理念・CSR方針・ビジョン

● 積水ハウスの企業理念・CSR方針・ビジョン

- 企業理念
- サステナブル・ビジョン

- 環境価値
- 経済価値
- 社会価値
- 住まい手価値

● 経営ビジョン

- CSRIに関する方針・指針

■ ガバナンス・コンプライアンス

● コーポレートガバナンス・内部統制システム

● CSR推進体制

- CSR推進体制と組織マネジメント
- CSRマネジメントツール
- 社外委員からのコメント

● コンプライアンス

- コンプライアンスの考え方
- コンプライアンス推進活動
- 「企業倫理要項」の遵守
- 個人情報保護の取り組み
- 内部通報システムと公益通報者の保護
- 公正な取引
- 各種補助金の適正業務実施と適正運用

● ヒューマンリレーション・人権擁護

- ヒューマンリレーション推進体制
- ヒューマンリレーション研修
- セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント相談窓口

● リスクマネジメント

- リスクマネジメント体制
- 自然災害発生時の対応
- 新型インフルエンザの対策について
- 廃棄物処理に関するリスクへの対応
- 土壌汚染に関するリスクへの対応

● 環境マネジメント

- 環境マネジメントの推進・方針
- 事業所での環境推進体制
- ISO14001 認証取得
- 環境に関する法令の遵守状況
- 従業員への環境取り組みの研修（一般教育・研修）

■ 「エコ・ファースト企業」として

- 「エコ・ファーストの約束」進捗報告
- 「エコ・ファースト推進協議会」の活動への参加

■ 研究・開発

- R&Dの拠点「総合住宅研究所」
- 近未来型住宅「ゼロエミッションハウス」
- 「サステナブル デザイン ラボラトリー」
- 「観環居」居住者目線のスマートハウスの実現を目指して
- 日本初、実際に家族が暮らしながら実施する「スマートエネルギーハウス」居住実験
- 「ケミレスタウン®・プロジェクト」
- 千葉工大との共同研究「ロボットテクノロジー(RT)」
- 生体情報による健康管理で快適・安心な暮らしを創出

■ これまでのあゆみ

- 1960年代
- 1970年代
- 1980年代
- 1990年代

- 2000年代
- 2010年代

■ 社外からの評価

- SRIインデックスへの組み入れ
- 主な表彰実績

サステナブル社会の実現に向けて

■ サステナブル社会の実現に向けた経営理念

■ 東日本大震災復興に向けた積水ハウスグループの取り組み

■ 次の要請に応える未来への取り組み

- 震災後の次代の要請に応える「グリーンファースト」の展開
- 健康への配慮
- 国際事業の展開

テーマ別取り組み

■ 地球温暖化防止

- 住宅のエネルギー消費（住宅のライフサイクルCO₂）
- 居住時のCO₂排出削減の取り組み
 - 「グリーンファースト」とは
 - 世界初、3電池連動のスマートハウス「グリーンファースト ハイブリッド」誕生
 - 新築戸建住宅における「グリーンファースト」の進捗
 - 賃貸住宅における「グリーンファースト」の進捗
 - 創エネ・省エネリフォーム
 - 分譲マンションも「グリーンファースト」
 - 「ぐるりん断熱」の普及促進
 - 太陽光発電の普及促進
 - 燃料電池の普及促進
 - 災害時に備えた蓄電池の開発
 - 家庭内のエネルギーを最適制御するHEMS
 - 「グリーンファーストLED-かながわ」の展開
- 生産時のCO₂排出削減の取り組み
 - 生産時のエネルギー消費
 - 木質バイオマス・ガス化発電システムの導入
- 輸送時のCO₂排出削減の取り組み
 - 輸送時のエネルギー消費
 - 積載効率の高い「増トン車」の導入
 - モーダルシフトの取り組み
- 事務所等取り組むCO₂排出削減の取り組み
 - 「エコ・ファースト企業」としての自主宣言行動による節電取り組み
 - 節電アクションコンテスト
 - 環境に配慮した車両の導入とエコドライブ・安全運転の推進
 - テレビ会議室使用によるCO₂削減
- 公的制度や認定の活用
 - 人と自然が共生する環境共生住宅
 - CASBEE（建築物総合環境性能評価システム）
 - 住宅のトップランナー基準
 - 国内クレジット制度に基づくCO₂排出削減事業グリーンファースト倶楽部
 - 住宅・建築物省CO₂先導事業に採択

■ 生物多様性

- フェアウッド調達
 - 「木材調達ガイドライン」とは
 - 「木材調達ガイドライン」の運用と改訂
 - 環境NGOとの協働
 - 国産材の活用
 - 木材の循環利用

● 「5本の樹」計画

- 「5本の樹」計画とは
- 生物多様性活動に関する民間団体への参画
- 緑豊かな賃貸住宅「シャーマンソーン ガーデンス」
- 分譲マンションにおける緑化の推進
- 「5本の樹」いきもの調査
- 「第2回 いきものにぎわい企業活動コンテスト」で「財団法人水と緑の惑星保全機構会長賞」を受賞
- 「5本の樹・野鳥ゲータイ図鑑」
- 生物多様性サイトの開設

■ 資源循環

● 資源の循環利用

- 資源循環活動のあゆみ
- IT技術を活用した資源循環体制の運用
- 解体廃棄物の再資源化への取り組み
- 「資源循環センター」
- 「広域認定制度」の活用

● 住まいの長寿命化

- 住まいの長寿命化とは
- 長期優良住宅と品確法
- 住宅履歴情報サービス「いえるぐ」を発行
- 住まいの価値を維持する長期保証
- 「エバーループ」～オーナー住宅買取再生事業
- 循環型社会の形成につながるリフォーム事業

● 生産部門でのゼロエミッション

- 工場ゼロエミッションの取り組み
- リサイクル材の開発

● 新築施工現場でのゼロエミッション

- 新築施工現場のリデュース
- 新築施工現場でのゼロエミッション

● アフターメンテナンス部門でのゼロエミッション

● リフォーム施工現場でのゼロエミッション

● 事務所における資源循環

- 「グリーン購入」の推進
- 施工現場ユニフォームのリサイクル

■ 水資源の有効活用

● 工場における水使用量

- 雨水タンクなどで雨水利用を推進
- 節水型浴槽・手元ストップシャワーの効果
- 超節水型便器の標準化
- レインガーデン

■ 化学物質の管理

- 「化学物質ガイドライン」の運用と管理
- 解体工事において適正にフロンを回収
- PRTR—工場で使用する化学物質の管理
- アスベスト問題への対応

■ 安全・安心・健康・快適

● 「住宅防災」への取り組み

- 「住宅防災」の考え方
- 省エネと防災を両立する省エネ・防災仕様
- オリジナル制震システム「シーカス」
- まちの発電所「グリーンファースト ハイブリッド」

● 防犯への配慮

- 防犯の考え方
- 防犯シミュレーションシステム

● 健康

- 空気環境配慮仕様「エアキス」の開発と普及
- 室内空気質に対する意識啓発
- 次世代を考えた「エコチル調査」への協力
- 睡眠空間

● 超高齢社会に向けたさまざまな提案（医療・介護）

- 医療・介護事業の推進
- シニア世代の豊かな暮らしを支援する制度

●品質向上

- 部材生産品質向上のために
- 全社施工品質管理システム
- 不具合の予防・再発防止体制構築と苦情情報のデータベース化による品質改善
- グループ会社と協力工事店による任意組織「積水ハウス会」
- 厚生労働省認定「セキスイハウス主任技能者検定」
- 教育訓練センター・訓練校
- 施工マイスター制度
- 積水ハウスリフォームマイスター制度
- 施工改善提案制度「私のアイデア-21」
- 施工ニュース「つちおと」

●ユニバーサルデザイン

- ユニバーサルデザインの考え方
- スマート ユニバーサルデザイン
- 子ども視点で住まいを考える「キッズでざいん」

●生活サポート

- カスタマーズセンター
- カスタマーズセンター休日受付センター
- 長期品質保証制度
- 住宅履歴情報サービス

●コンサルティング・ハウジング

- 夢をかなえるカ「コンサルティング・ハウジング」の推進
- 「コンサルティング・ハウジング」を担う人材の育成
- 体験型学習施設を通じた「コンサルティング・ハウジング」
- 「コンサルティング・ハウジング」を補完するシステム
- さまざまな家族のかたちに合わせたライフスタイル提案
- オーナー・入居者双方にメリットのある賃貸住宅の提案

■まちづくりとコミュニティ

- 持続可能なまちを実現する「まちづくり憲章」
- 「ひとえん」づくりによるコミュニティの醸成
- 安全・安心・快適なまちなみ・コミュニティを体感できる「まちなみ参観日」
- 「経年美化」のまちづくり
- 「n×豊か」のまちづくり
- 賃貸住宅「シャーマゾン」のまちづくり
- マンション・都市開発におけるまちづくり
- 国際事業におけるまちづくり
- スマートな技術を生かした持続可能なまちづくり「スマートコモンシティ」
- 既存住宅団地のコミュニティ活性化を目指した産学共同研究

■ステークホルダーコミュニケーション

- ステークホルダーコミュニケーション指針
- お客様とのコミュニケーション
 - CS（お客様満足）に関する方針と体制
 - グループ全員で実践するCSアクション
 - お客様アンケートの分析とフィードバック
 - オーナー様とのコミュニケーションツール
 - 賃貸住宅における入居者満足の向上
- 取引先とのコミュニケーション～サプライチェーンマネジメント
 - サプライチェーンマネジメント
 - 購買方針
 - お取引先様との相互コミュニケーション
 - セキスイハウス会労働保険事務組合
 - セキスイハウス協会（福利厚生制度）
 - 施工従事者のマネジメント
- 従業員とのコミュニケーション
 - 人事基本方針
 - 女性活躍の推進
 - ・女性の管理職への登用
 - ・女性営業職の積極採用・支援
 - ・展示場接客担当者の育成
 - ・「リフォームアドバイザー」の積極採用

- ワーク・ライフ・バランスのための制度
 - ・育児や介護休業に向けた各種制度
 - ・休職従業員へ向けた各種支援制度

○障がい者雇用の推進

- 人材育成
 - ・人材育成の考え方
 - ・新卒採用に向けた取り組み
 - ・経営力強化に向けた取り組み
 - ・自己啓発の支援
 - ・社内資格制度
 - ・社内公募制度

○労働安全衛生

- ・メンタルヘルスマネジメント
- ・労働災害発生状況
- ・労働安全衛生マネジメントシステム
- ・施工現場での労働安全衛生活動
- ・職場での労働環境の改善
- ・安全衛生教育研修

○従業員とのコミュニケーション

- ・経営トップと従業員・協力工事店との対話
- ・職場環境改善やCSR推進を目的とした従業員参加型のさまざまな活動
- ・従業員をつなぐグループ誌「積水ハウス」
- ・月刊メールマガジン「CSRコラム」

●株主とのコミュニケーション

●地域・社会とのコミュニケーション

- 地域・社会との対話
- 「サステナビリティレポート」の発行
- 住環境の質の向上を目指した団体活動および提言活動
- 環境イベントへの出席
- サステナブルブックレットの発行

■社会貢献活動

●社会貢献活動の考え方

●住文化の向上

- 住まいづくりの教室「すまい塾」の開催
- 「生活リテラシーブック」の発行
- 「view point」の発行
- 「住まいの図書館」の運営
- 出版事業を展開「株式会社住まいの図書館」
- 「住み継がれる家の価値」発行への協力

●次世代育成

- 総合住宅研究所の教育貢献活動
- 体験教育機会を提供「住まいの夢工場」
- 各地の教育貢献活動
- インターンシップの実施
- 「住空間ecoデザインコンペティション」開催
- 環境教育プログラムの実施
- 新梅田シティ「新・里山」での教育貢献

●環境配慮

- 「企業の森」制度への参加
- 清掃活動
- 「キャンドルナイト」の実施
- 「5本の樹」計画を生かした地域貢献活動
- 埼玉県「みどり川」の再生」活動に参加

●防犯・防災の啓発活動

- 防災意識の啓発
- 災害時における地域との協働
- 防犯教育と意識啓発

●障がい者の自立支援

- セルフ製品の販売協力、ノベルティ採用
- 障害者週間行事への参画

●NPO・NGOとの協働

- NPO・NGOとの協働
- キッズデザイン協議会
- 社会起業家を目指す若者の支援「edge」への協賛
- 「西山卯三記念すまい・まちづくり文庫」住文化の継承と発展への協力

●従業員と会社の共同寄付制度

「積水ハウスマッチングプログラム」

●公益信託「神戸まちづくり六甲アイランド基金」

●チャリティ・義援金・ボランティア

- 災害義援金
- チャリティフリーマーケットの実施
- こどもの日チャリティイベントへの協力
- 各地へ広がる収集ボランティア
- 地域イベントの支援
- 多彩な国際交流イベントの開催

●文化財の保護

●社会貢献活動社長表彰

目標と実績

■社会性目標と実績

- CSR方針と体制
- お客様のために
- 従業員、取引先のために
- 株主、地域社会のために

■環境目標と実績

- エコ・ファーストの約束1（家庭部門・事業活動のCO₂排出量削減）
- エコ・ファーストの約束2（生態系ネットワークの復活）
- エコ・ファーストの約束3（資源循環の取り組み）
- その他

基本事項

■環境会計

■マテリアルバランス（事業活動の環境負荷の把握）

■サイトレポート

- 東北工場
- 関東工場
- 静岡工場
- 兵庫工場
- 山口工場

■ガイドライン対照表

- GRIガイドライン
- 環境省ガイドライン

■第三者意見報告書

- 第三者意見報告書
- 持続可能性分析

■社外意見を受けて

■報告書ダウンロード

編集後記

本報告対象期間は東日本大震災の復旧・復興にどう向き合うか、大きく変化した世の中のニーズ・価値観にどう応えていくかという課題に向けて走り続けた1年間でした。

お客様への感謝の気持ち。積水ハウス会というかけがえのないパートナー。全国から駆け付けた心強い積水ハウスグループの仲間たち。私たちが大切にしてきたものが、この非常時における取り組みの原動力となったことが編集を通じて実感でき、感慨深いものがありました。

レポートメディアの軸足を紙からWEBに移行させる企業が増えています。我々編集チームは冊子の内容充実にこだわり、昨年よりもページ数は10ページ増えました。国際事業も本格化し、報告すべき内容は今後も増える一方です。次年度も「誠実に、わかりやすく、読みやすく」を合言葉に編集活動を進めてまいります。至らない部分も多々あるかと存じます。お読みいただいた皆様からは忌憚のないご意見をお待ちしております。

最後になりましたが、発行にご協力いただいた方々に衷心より感謝いたします。本当にありがとうございました。



「サステナビリティレポート2012」編集チーム
コーポレート・コミュニケーション部CSR室、
環境推進部、IT業務部